

新かながわランドデザイン評価報告書

数値目標の達成状況及び評価一覧

2025年度

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|--------|---|------|--------|----------|--------|---|---|--------------|
| | | 構成施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 | |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率(%) | | | 備考(把握予定時期) |
| 1 | 子ども・若者 | A | 結婚支援に取り組む市町村数(総数) | 市町村 | 15 | 16 | 114.2 | 概ね順調に進んでいます。 【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は89.3%であり、目標に対し概ね順調に進んでいます。 【総合評価】 ・結婚支援に取り組む市町村数や、かながわ子育て応援パスポートの拡大など、主な事業の取組が予定通り進捗していることや関連する統計データが全体の傾向として改善傾向に向かっていることから、プロジェクトの一次評価として「概ね順調に進んでいます」としました。 | 概ね順調に進んでいます。 【評価のポイント】 『「安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること」に関する満足度』の指標は、昨年度から横ばいであり、待機児童問題についても、過去から継続して取り組んでいるにもかかわらず、未だ解消に至っていないため、今後の動向を注視する必要があります。一方、「かながわ子育て応援パスポート」の協力施設数や「子どもの意見をきくための意見表明等支援員の登録者数」などが目標を達成していることから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 【今後の課題と対応の方向性】 ・意見表明等支援員の登録者数や医療的ケア児等コーディネーターの養成研修の修了者数は、増加する実績だけでなく、具体的な活動状況やその成果についても把握する必要があります。 ・児童虐待相談の対応件数の増加傾向については、虐待の可視化が進んでいると捉えることもできますが、今後も引き続き動向を注視していく必要があります。 | |
| | | A | 宿泊型産後ケアを利用できる市町村数(総数) | 市町村 | 20 | 25 | 162.5 | | | |
| | | A | 保育所等利用待機児童数 | 人 | 0 | 138(見込値) | 37.8 | | | 2026年6月把握予定 |
| | | A | 子育て世帯のニーズに対応した子育て支援情報を発信する「かながわ子育てパーソナルサポート」の登録者数(総数) | 人 | 90,000 | 69,344 | 77.0 | | | |
| | | A | 「かながわ子育て応援パスポート」の協力施設数(総数) | 施設 | 3,847 | 4,040 | 293.0 | | | |
| | | B | 「かながわヤングケアラー等相談LINE」の相談件数 | 件 | 400 | 667 | 166.7 | | | |
| | | B | 里親等委託率 | % | 27.2 | | | | | 2026年7月頃把握予定 |
| | | B | 医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者数(累計) | 人 | 94 | 94 | 100.0 | | | |
| | | B | 子どもの意見をきくための意見表明等支援員の登録者数(総数) | 人 | 15 | 20 | 133.3 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|----------|---|------|-------|----------------|------------|------------------|--|--|----------------|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | | |
| 2 | 教育 | A | インターンシップ体験生徒数(県立高校) | 人 | 6,000 | 5,357 (見込値) | 89.2 | 2026年11月 把握予定 | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は96.4%であり、目標に対し順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善により、指標「学校に行くことが楽しいと思う児童の割合(公立小学校)・生徒の割合(公立中学校)」が上昇するなど、目標に向けて着実に推移していることから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 教員の働き方改革に関する取組により教員の長時間労働が改善傾向にあることに加え、「将来の夢や目標を持っている児童の割合(公立小学校)・生徒の割合(公立中学校)」をはじめとした指標の動向が上昇傾向であることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・子どもたちが多様な学びを選択できるよう、校内教育支援センターや学びの多様な学校等に関する情報を教員、児童・生徒や保護者等に提供する必要があります。 ・県内に外国につながる児童・生徒が増加し、子育てや教育環境に課題を抱えている保護者も増加している現状を踏まえ、児童・生徒が抱える多様な課題を把握し、支援につなげていく必要があります。 ・外国につながる子どもたちの権利も守られるよう、インクルーシブな教育をさらに推進し、誰もが公平に学べる環境を整備する必要があります。 ・言語や文化に違いがある外国につながる児童・生徒とその保護者への対応が円滑に進むよう、対応を行う教員への支援策を検討する必要があります。</p> | |
| | | A | CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合(県立高校3年生) | % | 56.6 | 56.4 | 99.6 | | | | |
| | | A | 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことが勉強の役に立つ」と思う割合(公立小・中学校) | % | 95.0 | — | — | 把握不可 | | | |
| | | A | 「人が困っているときは、進んで助けています」と思う児童の割合(公立小学校)・生徒の割合(公立中学校) <小学校> | % | 93.0 | 93.6 | 100.6 | | | | |
| | | A | 「人が困っているときは、進んで助けています」と思う児童の割合(公立小学校)・生徒の割合(公立中学校) <中学校> | % | 89.0 | 90.4 | 101.5 | | | | |
| | | A | 「中学生の時よりも人を思う気持ちが身についた」と思う生徒の割合(県立高校) | % | 90.0 | 91.1 | 101.2 | | | | |
| | | B | 「かながわ子どもサポートドック」のしくみにより児童・生徒が専門的な支援につながった割合 | % | 80.0 | 86.8 (見込値) | 108.5 | 2026年5月把握予定 | | | |
| | | B | 教員採用候補者選考試験の応募倍率 | 倍 | 3.6 | 3.2 | 88.8 | | | | |
| | | B | 「仕事にやりがいがある」と感じている教員の割合(県立学校) | % | 80.0 | 86.3 | 107.8 | | | | |
| | | B | 新まなびや計画第3期における老朽化対策(計画修繕)の実施割合(県立学校)(計画期間中の累計) | % | 50.0 | 45.0 | 90.0 | | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|-------------|--------|---|------|---------|------------------|------------|---|--|----------------|
| | | 構成施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 3 | 未病・健康 長寿 | A | 地域の高齢者が気軽に集い、一緒に活動内容を企画し、「生きがいづくり」「仲間づくり」をする「住民主体の通いの場」への参加者数 | 人 | 102,900 | | | 国が例年3月頃に公表しており、2024年度は2026年5月頃公表予定。2025年度は未定。 | 概ね順調に進んでいます。 【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は88.0%であり、目標に対し概ね順調に進んでいます。 【総合評価】 ・KPIについて、一部未把握や達成率が低調のものもありますが、未病改善への取組など主な事業の取組が概ね予定どおり進捗していることや、関連する統計データがコロナ禍以降改善傾向に向かっていることから、プロジェクトの一次評価として「概ね順調に進んでいます」としました。 【今後の課題と対応の方向性】 ・中小企業が負担なく健康経営に取り組めるよう、支援に取り組んでいく必要があります。 ・地域の高齢者が気軽に集う、「住民主体の通いの場」を増やすため、民間の力も活用しながら取組を進めていく必要があります。 ・デジタルを活用した情報発信では、情報が届かない方もいるため、誰もが情報を受け取ることができる取組も行う必要があります。 | 概ね順調に進んでいます。 |
| | | A | 健康経営に取り組む企業数(総数) | 社 | 3,000 | 2,974 | 97.4 | | | |
| | | A | 未病指標利用者数(累計) | 人 | 800,000 | 645,428 | 75.4 | | | |
| | | B | 「かながわ治療と仕事の両立推進企業」認定企業数(累計) | 件 | 330 | 264 | 51.4 | | | |
| | | B | 心血管疾患リハビリテーションの実施件数 | 件 | 670,700 | 594,606 (見込値) | 88.6 | 2027年9月頃把握予定 | | |
| | | B | 特定行為研修修了者の就業者数(総数)【暦年】 | 人 | 528 | 713 (見込値) | 176.4 | 2026年10月頃把握予定 | | |
| | | C | 看護職員5人以上の訪問看護ステーション数(総数) | 事業所 | 344 | 363 (見込値) | 129.2 | 2026年10月頃把握予定 | | |
| | | C | 地域支え合いを推進する「生活支援コーディネーター」研修受講者数 | 人 | 470 | 432 | 91.9 | | | |
| | | C | 認知症本人・家族と支援者をつなぐ「チームオレンジ」の設置数(総数) | チーム | 175 | 192 | 120.2 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|----------|-------------------------|------|---------|---------------|------------|---|---|---------------------|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 4 | 文化・スポーツ | A | 共生共創事業の参加者(出演者、観覧者等)満足度 | % | 81.0 | 92.7 | 114.4 | <p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は88.3%であり、目標に対し概ね順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・主な事業の取組が予定どおり進捗していますが、一部の指標では2025年度実績値が現況値を下回り、2027年度の目標に対して進捗が遅れていることに加え、KPIの実績でも「神奈川文化プログラム認証件数」など、一部減少しているものがあるため、プロジェクトの一次評価として「概ね順調に進んでいます」としました。</p> | <p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 スポーツに関する取組では、スポーツ実施率にかかわる指標が現況値を下回っているものの、子どものスポーツ実施率は改善傾向にあり、また、文化芸術に関する取組では、「共生共創事業の参加者(出演者、観覧者等)満足度」などが目標に達成していることから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・共生共創事業について、高齢者だけでなく障がい者を対象とした事業にもさらに力を入れていく必要があります。 ・「神奈川文化プログラム認証制度」に対する認知度が不足していることから、デジタル技術を活用した情報発信を強化していく必要があります。 ・スポーツ実施率を向上させるためには、年代別のスポーツ実施率や、県の取組をきっかけにどのくらいの方がスポーツを実施するようになったかといった数値を把握し、引き続き、世代の特徴に応じた取組や、スポーツへの興味関心が低い方も対象に含めた取組を実施していく必要があります。</p> | |
| | | A | 神奈川文化プログラム認証件数 | 件 | 620 | 509 | 82.0 | | | |
| | | A | 「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数 | PV | 489,400 | 584,584 | 119.4 | | | |
| | | A | 県立文化施設、県立社会教育施設の利用者満足度 | % | 96.5 | 96.8 (見込値) | 100.3 | | | 前年据置 2026年5月把握予定 |
| | | B | 県民スポーツ月間の参加者数 | 人 | 240,000 | 211,906 | 88.2 | | | |
| | | B | 県内総合型地域スポーツクラブの会員数(総数) | 人 | 29,000 | 27,910 | 51.9 | | | |
| | | B | 神奈川県障害者スポーツサポーター養成数(累計) | 人 | 863 | 854 | 96.2 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|--------------|----------|----------------------------------|------|---------|----------------|------------|----------------|--|----------------|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 5 | 観光・地域 活性化 | A | 観光客満足度(観光客が「大いに満足した」と評価した割合) | % | 80 | 82.2 (見込値) | 102.7 | 2027年1月把握予定 | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は96.6%であり、目標に対し順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・延べ宿泊者数や移住・定住関連のウェブサイトのページビュー数など、主な事業の取組が予定どおり進捗しており、関連する統計データでは、本県の働く世代(15～64歳)の社会増減数は、対東京都心部(東京23区)で転入超過に転じたことから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> <p>【評価のポイント】 観光の振興に向けた取組では、「延べ宿泊者数」などが目標に達しており、また、移住・定住の促進に向けた取組では、「移住・定住関連のウェブサイトのページビュー数」などが目標に達しているほか、県の働く世代(15～64歳)の社会増減数が、対東京都心部(東京23区)で転入超過に転じたことなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・県内の宿泊者数の分析に当たっては、宿泊目的が地域ごとで異なる実態を踏まえる必要があります。 ・県内の入込観光客数の推移の分析に当たっては、他の都道府県の数値と比較するなど工夫する必要があります。</p> | |
| | | A | 延べ宿泊者数【暦年】 | 万人泊 | 2,462 | 2,721 (速報値) | 110.5 | 2026年6月末把握予定 | | |
| | | A | 海外向けSNSの総フォロワー数(総数) | 人 | 258,000 | 312,340 | 238.5 | | | |
| | | B | 三浦半島地域(鎌倉市を除く)の入込観光客数【暦年】 | 万人 | 1,547 | 1,628 (見込値) | 105.2 | 2026年8月把握予定 | | |
| | | B | 県西地域の入込観光客数【暦年】 | 万人 | 3,519 | 3,789 (見込値) | 107.6 | 2026年8月把握予定 | | |
| | | B | me-byoエクスプラザへの来場者数 | 人 | 58,000 | 49,116 | 84.6 | | | |
| | | B | 水源地域の入込観光客数【暦年】 | 万人 | 918 | 756 (見込値) | 82.3 | 2026年8月把握予定 | | |
| | | C | 移住・定住関連のウェブサイトのページビュー数(累計) | 回 | 500,000 | 711,272 | 170.4 | | | |
| | | C | 県や市町村の相談等の移住施策を経由して移住した人数 | 人 | 232 | 370 (見込値) | 159.4 | 2026年6月把握予定 | | |
| | | C | かながわコミュニティ再生・活性化推進会議に参加する市町村の満足度 | % | 88 | 90 | 102.2 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|----------|--|------|------|---------------|------------|--|--|----------------|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 | |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | 備考 (把握予定時期) |
| 6 | 経済・労働 | A | 企業立地支援件数(計画期間中の累計) | 件 | 100 | 102 | 102.0 | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は98.4%であり、目標に対し順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・県外・国外からの企業誘致や県内企業の投資の促進、多様な人材の活躍促進など主な事業は予定どおり進捗していること、指標や関連する統計データが全体の傾向として堅調に推移していることから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 県外・国外からの企業誘致や県内企業の投資の促進、多様な人材の活躍促進に向けた取組が予定どおり進捗していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・中小企業がDXを推進するうえでの課題を明確にしたうえで、中小企業のデジタル化に向けた支援に取り組んでいく必要があります。 ・障がい者雇用の理解促進に向けた研修等への参加者数を増やすため、企業側のニーズも勘案した上で、研修内容等を検討する必要があります。</p> | |
| | | A | 未病産業関連商品の事業化件数(累計) | 件 | 225 | 258 (見込値) | 135.4 | | | 2026年5月把握予定 |
| | | A | 生活支援ロボットに関する特区の取組に参加する県内中小企業件数(累計) | 社 | 90 | 156 | 173.3 | | | |
| | | B | DXに取り組んでいる中小企業の割合 | % | 81.0 | 73.2 | 90.3 | | | |
| | | B | 経営状況が下降する前にその兆しに気づき、早期に必要な対策を講じた企業の割合 | % | 82.0 | | | | | 2028年度把握予定 |
| | | C | 働き方改革に関連するセミナーへの参加者数 | 人 | 225 | 433 | 192.4 | | | |
| | | C | 県就業支援施設でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率(かながわ若者就職支援センター及びシニア・ジョブスタイル・かながわ) | % | 51.0 | 51.2 | 100.3 | | | |
| | | C | 障がい者雇用の理解促進に向けた研修等への参加者数 | 人 | 810 | 798 | 98.5 | | | |
| | | C | 県立総合職業技術校及び県立産業技術短期大学のデジタル関連科就職率 | % | 94.0 | 92.6 (見込値) | 98.5 | | | 2026年7月頃把握予定 |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|----------|-----------------------|------|-------|----------------|------------|----------------|---|--|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 7 | 農林水産 | A | 農林水産業への新規就業者数 | 人 | 164 | 158 (見込値) | 96.3 | 2026年7月把握予定 | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は94.1%であり、目標に対し順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・意欲ある担い手への農地集積など主な取組が順調に進んでいることから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 農林水産業の担い手の確保など、長期的な課題はあるものの、農地集積などの取組が順調に進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・農林水産業の担い手の確保に当たっては、次世代を担う若者に興味を持ってもらえるような取組を検討する必要があります。 ・気候変動による農林水産業への影響については、県レベルでの対応は難しいため、引き続き国などと連携して取組を進める必要があります。 ・農業人口全体では減少傾向にあるため、営農継続に向けたコストへの支援や地域の特色に合わせた農業支援について検討する必要があります。 ・GREEN×EXPO2027の開催に向け、より一層の機運醸成に取り組む必要があります。</p> |
| | | A | スマート農業技術の導入経営体数(累計) | 経営体 | 388 | 357 (見込値) | 72.0 | 2026年8月把握予定 | | |
| | | A | 意欲ある担い手への農地集積率 | % | 25.7 | 26.1 (見込値) | 101.5 | 2026年7月把握予定 | | |
| | | A | 農業生産基盤の整備と一体となった農地集積率 | % | 46 | 52 (見込値) | 113.0 | 2026年7月把握予定 | | |
| | | B | かながわブランドの認知度 | % | 75.0 | 67.9 | 90.5 | | | |
| | | B | 特定家畜伝染病の発生件数 | 件 | 0 | 0 | 100.0 | | | |
| | | B | 県民が里地里山の保全活動等に参加する人数 | 人 | 7,700 | 8,700 (見込値) | 112.9 | 2026年7月把握予定 | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|--------|--|------|------|-----------|--------|------------|--------------|---|--|
| | | 構成施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 | |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率(%) | 備考(把握予定時期) | | | |
| 8 | 脱炭素・環境 | A | 新築一戸建住宅に占めるZEHの割合 | % | 24 | | | | 2026年12月把握予定 | <p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は89.0%であり、目標に対し概ね順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・2013年度と比較して、指標である温室効果ガス全体の排出量(2023年度(速報値))は、省エネルギー化や、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入などが進んだこと、電力のCO2排出係数が改善したことに加え、京浜臨海部における大規模排出事業者の設備を休止したことなどにより、31.5%削減となりました。</p> <p>・一方で、国際情勢の影響や、国のエネルギー基本計画で予測されているAI需要の増加等による電力需要の急増など、これらに伴う温室効果ガス排出量の増加が懸念されることから、指標とする「2030年度 50%削減」の達成に向けては、引き続き取組を強力に推進する必要があります。</p> | <p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 温室効果ガス全体の排出量に関する指標については、国際情勢の影響などにより、2030年度の目標達成が危ぶまれるため、今後の動向を注視していく必要があります。一方で、省エネルギー化や太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入などが進んだことなどにより、2013年度と比較して31.5%の削減となったことから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・県として脱炭素化を進める一方で、昨今の国際情勢による石炭火力発電割合の増加の懸念や、今後、AI需要の拡大に伴う、電力消費量の多いデータセンターの増加など、KPIの達成状況だけでなく、丁寧な分析を行ったうえで評価をするとともに、温室効果ガス排出量の削減目標の達成に向け、一層取組を強化する必要があります。</p> <p>・「脱炭素を意識した取組を行っている人の割合」は県が積極的に働きかけることで増加が見込めるため、普及啓発の取組を一層推進していく必要があります。</p> <p>・電動車の普及率向上に向けては、販売を促進する取組とともに、電動車を使用するためのインフラの設置状況などについても考慮し、継続して整備促進に取り組む必要があります。</p> |
| | | A | 脱炭素を意識した取組を行っている人の割合 | % | 35 | 24.3 | 69.4 | | | | |
| | | A | 新車乗用車販売数に占める電動車※1の割合※2【暦年】 ※1 EV(電気自動車)、PHV(プラグインハイブリッド自動車)、HV(ハイブリッド自動車)、FCV(燃料電池自動車) ※2 軽自動車は含まない。 | % | 68 | 61.8 | 90.8 | | | | |
| | | A | 再生可能エネルギーの導入量(総数) | 万kW | 204 | | | | 2027年4月把握予定 | | |
| | | A | プラスチックごみの有効利用率(一般廃棄物) | % | 99.4 | | | | 2026年夏以降把握予定 | | |
| | | B | 県有施設への太陽光発電の導入率(設置可能な施設のみ) | % | 35 | | | | 2026月11月把握予定 | | |
| | | B | 県有施設での電力利用における再生可能エネルギーへの切り替え率 | % | 52 | 80.7(見込値) | 155.1 | | 2026月9月把握予定 | | |
| | | B | 公用車に占める電動車の割合(代替可能な車両がない場合を除く) | % | 47 | 45.1(見込値) | 95.9 | | 2026月5月把握予定 | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|----------|---|------|--------|---------|------------|----------------|--|---|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 9 | 生活困窮 | A | 県のポータルサイトに登録している子ども食堂等の数(総数) | 箇所 | 286 | 399 | 271.2 | | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は94.6%であり、目標に対し順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・指標の動向が全体的に上昇傾向にあることに加えて、困難な問題を抱えた女性への支援、孤独・孤立に悩む方への社会とのつながりの支援といった取組が予定通り進捗していることから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> | <p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 困難な問題を抱えた女性への支援、孤独・孤立に悩む方への社会とのつながりの支援といった取組は予定どおり進捗しており、県による一次評価では「順調に進んでいる」としているが、一方で、子どもの貧困化や、急激な物価高騰などの社会環境の急激な変化に伴い生活保護家庭が増加している現状などを踏まえ、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・困窮家庭への支援については、行政での支援が十分に成果をあげているとは言えない一方で、支援団体単独での活動にも限界があるため、官民の連携を深めていく必要があります。 ・子どもの貧困化や単身世帯の困窮増加、そのほか数値に表れない困窮を看過せず、具体的な対策を示す必要があります。</p> |
| | | A | ケアリーバー相談窓口利用者満足度 | % | 89 | | | 2026年6月把握予定 | | |
| | | B | 「かながわひとり親家庭相談LINE」の友だち登録者数(総数) | 人 | 6,100 | 6,769 | 143.5 | | | |
| | | B | 「神奈川県ひとり親養育費確保支援事業補助金」の申請受付件数 | 件 | 50 | 61 | 122.0 | | | |
| | | B | DV被害者相談窓口を知っている人の割合 | % | 90 | 79.9 | 88.7 | | | |
| | | C | 「かながわ子ども・若者総合相談LINE」及び「かながわひきこもり相談LINE」の友だち登録者数(総数) | 人 | 14,000 | 14,087 | 101.4 | | | |
| | | C | 生活困りごとサポートサイト「さぽなびかながわ」トップページのページビュー数 | PV | 81,000 | 131,981 | 162.9 | | | |
| | | C | 生活困窮者自立相談支援の新規相談件数に対する新規支援プラン作成数の割合 | % | 50 | 37 | 74.0 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | | 2025年度 | |
|-----|---------|----------|---|------|--------|--------|------------|----------------|---|---|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 10 | 共生社会 | A | 「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度 | % | 47 | 28.3 | 60.2 | | <p>やや遅れています。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は89.0%であり、目標に対し概ね順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・指標の動向が2027年度の目標達成に向けて進捗が遅れていることに加え、一部のKPI「ともに生きる社会かながわ憲章」の認知度や障がい者施設入所者の地域生活移行者数に遅れが生じているため、プロジェクトの一次評価として評価を1段階下げて「やや遅れています」としました。</p> | <p>やや遅れています。</p> <p>【評価のポイント】 「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の普及啓発や障がい児・者が望むくらしの実現に向けた取組に遅れが出ていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「やや遅れている」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・障がい者支援などを促進するためには、当事者を理解する機会を増やす取組を推進する必要があります。 ・多文化共生への理解が後退しないよう、イベントの開催やその周知を通じて、より一層取組を推進する必要があります。 ・ともに生きる社会かながわの実現のためには、重度の介護や医療的ケアを必要とする方々を支える人材の確保に向けた取組を検討する必要があります。</p> |
| | | A | 障がい者施設入所者の地域生活移行者数 | 人 | 134 | | | 2026年9月頃把握予定 | | |
| | | A | 障害福祉サービス報酬の「処遇改善加算」の届出をする事業所・施設の割合 | % | 88 | 87.7 | 99.6 | | | |
| | | A | 福祉サービスを利用するための「サービス等利用計画」の作成を「相談支援専門員」に依頼している人数<障がい児・者> | 人 | 66,240 | | | 2026年8月頃把握予定 | | |
| | | A | 意思決定支援の研修受講者数(累計) | 人 | 3,970 | 3,545 | 78.2 | | | |
| | | B | 多文化共生イベントの参加者の満足度 | % | 89.0 | 89.6 | 100.6 | | | |
| | | B | 多言語支援センターかながわ対応件数 | 件 | 22,000 | 17,457 | 79.3 | | | |
| | | B | 「かながわ国際ファンクラブ」会員数(総数) | 人 | 10,250 | 12,308 | 252.3 | | | |
| | | C | 民間事業所の女性管理職(課長相当職以上)の割合(神奈川県男女共同参画推進条例に基づく届出) | % | 11.5 | 10.9 | 94.7 | | | |
| | | C | 25～44歳の女性の就業率【暦年】 | % | 80.0 | 82.7 | 103.3 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | |
|-----|------------|----------|---|------|--------|--------|------------|--|--|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | |
| 11 | くらしの 安心 | A | 関係機関・団体等と連携した大規模な防犯キャンペーンの参加人数 | 人 | 5,500 | 3,500 | 63.6 | 概ね順調に進んでいます。 【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は76.5%であり、目標に対し概ね順調に進んでいます。 【総合評価】 ・指標の動向はいずれも前年度から減少しているものの、犯罪・交通事故防止、消費者トラブル対策などの主な事業の取組が予定どおり進捗していることから、プロジェクトの一次評価として「概ね順調に進んでいます」としました。 | 概ね順調に進んでいます。 【評価のポイント】 特殊詐欺やサイバー犯罪の認知件数が増えている中、「犯罪や交通事故がなく安全安心してらせることに関する満足度」などの指標が低下しており、今後の動向を注視していく必要があります。一方で、KPIの平均達成率は減少しているものの、犯罪・交通事故防止、消費者トラブル対策などの主な事業の取組が予定どおり進捗していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 【今後の課題と対応の方向性】 ・犯罪などの起きにくい地域社会をつくるため、防犯カメラの設置促進に向けた取組をさらに進めていく必要があります。 ・改正道路交通法の施行により、自転車の交通違反に対する「青切符(交通反則通告制度)」が導入されたことから、自転車に対する交通指導、取締り対策をより一層推進していく必要があります。 |
| | | A | サイバー空間の脅威に関する広報啓発活動の実施回数【暦年】 | 回 | 1,200 | 1,120 | 93.3 | | |
| | | A | 自主防犯活動団体の登録数(総数) | 団体 | 2,440 | 2,418 | -46.6 | | |
| | | A | 犯罪被害者等への経済的支援や日常生活支援に取り組む市町村の数(総数) | 市町村 | 15 | 24 | 212.5 | | |
| | | B | 交通事故発生件数【暦年】 | 件 | 21,000 | 21,324 | 98.4 | | |
| | | B | 交通安全教育の実施回数【暦年】 | 回 | 6,700 | 5,934 | 88.5 | | |
| | | C | 県の消費生活相談員及び行政職員が行う市町村支援件数 | 件 | 200 | 204 | 102.0 | | |
| | | C | 相手方の申込みに応じて実施する、若者や高齢者などに対する消費生活出前講座の回数 | 回 | 45 | 31 | 68.8 | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | | |
|-----|---------|----------|--|------|-------|----------------|------------|--|--|------------------|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 備考 (把握予定時期) | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | | |
| 12 | 危機管理 | A | ビッグレスキュー・かながわ消防などの訓練参加人数 | 人 | 2,100 | 2,313 | 110.1 | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は95.5%であり、目標に対して順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・大規模災害発生時の医療救護活動に主眼をおいた総合的な訓練や道路の防災対策及び土砂災害防止施設の整備などの取組が予定どおり進捗していることから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 ビッグレスキューの実施などによる災害救助対応力の強化や道路の防災対策、土砂災害防止施設の整備などの取組が予定どおり進捗していることから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・自主防災組織の参加人数の減少など、地域の防災力の低下が懸念されることから、近年の災害の多発化・激甚化を踏まえ、防災・減災対策をより一層進めていく必要があります。 ・県民の防災意識の向上といった「自助」が進む一方、防災に関する県への満足度が減少傾向にある状況を踏まえ、災害に強いまちづくりに向けた取組をより一層進めていく必要があります。</p> | |
| | | A | かながわ版ディザスターシティを使用した訓練への消防団員及び自主防災組織の延べ参加人数 | 人 | 4,400 | 3,026 | 68.7 | | | |
| | | A | 国民保護避難施設の指定数(総数) | 施設 | 1,870 | 2,017 (見込値) | 419.5 | | | 2026年12月 把握予定 |
| | | B | 遊水地や流路のボトルネック等の整備箇所数(計画期間中の累計) | 箇所 | 1 | 1 | — | | | |
| | | B | 土砂災害防止施設の整備箇所数(計画期間中の累計) | 箇所 | 54 | 57 | 105.5 | | | |
| | | B | 道路の防災対策(橋りょうの耐震補強・土砂崩落対策)の整備箇所数(計画期間中の累計) | 箇所 | 31 | 31 | 100.0 | | | |
| | | C | 浸水想定区域にある医療機関のうち対策を講じている病院の割合 | % | 72 | 74.7 | 103.7 | | | |
| | | C | 医療従事者等に向けた県の感染症対応研修の受講者数(計画期間中の累計) | 人 | 160 | 179 | 111.8 | | | |

| No. | プロジェクト名 | 2025年度 | | | | | | 2025年度 | |
|-----|---------|----------|--|------|-----|-----|------------|---|---|
| | | 構成 施策 | 数値目標項目 | 数値目標 | | | | 県の一次評価 | 総合計画審議会による二次評価 |
| | | | | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成率 (%) | | |
| 13 | 都市基盤 | A | 自動車専用道路などの供用箇所数 (計画期間中の累計) | 箇所 | 4 | 3 | 75.0 | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【KPI】 ・プロジェクトを構成するKPIの平均達成率は96.2%であり、目標に対し順調に進んでいます。</p> <p>【総合評価】 ・道路をより使いやすくなる道の駅の供用や市街地再開発地区の新規事業化など、主な事業の取組が予定どおり進捗していることや、関連する統計データが全体の傾向として改善傾向に向かっていくことから、プロジェクトの一次評価として「順調に進んでいます」としました。</p> | <p>順調に進んでいます。</p> <p>【評価のポイント】 道の駅「湘南ちがさき」を計画どおり供用開始したことに加え、埼玉県八潮市における下水管破損に起因する道路陥没事故を受けた迅速な調査等を実施したこと、県立都市公園の利用者数が順調に推移していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>【今後の課題と対応の方向性】 ・「自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくり」の満足度が低下している原因を分析し、改善に向けた取組を進める必要があります。 ・道路台帳の電子化が、2年連続で目標値を下回っているため、取組を着実に進めていく必要があります。</p> |
| | | A | 道路をより使いやすくなる施設(スマートインターチェンジ、道の駅)の供用箇所数(計画期間中の累計) | 箇所 | 1 | 1 | 100.0 | | |
| | | A | 1日当たりの平均利用者数10万人以上の鉄道駅におけるホームドアの設置駅数(累計) | 駅 | 31 | 31 | 100.0 | | |
| | | B | 新規に事業化される市街地再開発事業地区数(計画期間中の累計) | 地区 | 4 | 4 | 100.0 | | |
| | | B | インクルーシブな遊具を導入した県立都市公園数(計画期間中の累計) | 公園 | 2 | 2 | 100.0 | | |
| | | B | 県営住宅の建替え工事に着手した団地数(累計) | 団地 | 12 | 14 | 150.0 | | |
| | | B | 道路施設(橋りょう、トンネル・洞門)の長寿命化計画に沿った修繕箇所数(計画期間中の累計) | 箇所 | 105 | 104 | 99.0 | | |